



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
FAX:0593-32-0733

掲示板法話

亡き人の後ろ姿に学ぶ

これぞ仏法相続の仏縁

今年も七月。早いもので、一年の後半に入ります。子供の頃には「夏休みが待ち遠しい」などと思っていたことを思い出すのですが、同年輩の方々の訃報を目にする度に、諸行無常の理を知らされ、頂いたいのを大切にしなければ申し訳ない思いに駆られます。

最近では元気な高齢者が多くて、それは結構なことだけれど、ただ自分の楽しみを追い求めているだけでよいのか？もっと、若い世代の手助けをしたり、世のために少しでも貢献しようという志を持ちたいものだと考えます。が如何でしょうか？

定年後に点字翻訳ボランティアを続けられた方がその表彰式会場で発病され、3週間後惜しくもお亡くなりになりました。当時その方の次男は海外に赴任中でしたが、家族を伴い一時帰国してお見舞いに駆けつけました。しばらく容態が変わらなかつたので一旦赴任先へ戻ったままもなくお父さんは往生の素懐を遂げられました。もちろん息子さん一家は即時帰国し、お葬儀に駆けつけました。その後お参りの度毎に、家族ともども遠方から

こぞつてお参りになられます。

葬儀、法事の簡素化傾向が進む昨今ですが、誠に立派な親孝行ですね、と私が申したところ、「親がいなければ我々は今ここにおりません。子供として当然のことです」と謙遜されました。その方がかつてインドに赴任した経験があると聞きましたので、「インド人は合掌してナマステと挨拶すると聞きましたが、本当ですか？」と尋ねたら、大きくうなずいてくださったので、かつてある人から聞いたエピソードをお話ししました。

インド人の一行が新幹線に乗っていたとき、車窓に雪をかぶった富士山の美しい姿が見えてきました。すると一行の中の一人が「ナマステ、ナマステ」と手を合わせて歓声を上げました。新幹線の中は「ナマステ、ナマステ」の大歓声に包まれました。ナマステは感動、歓喜の言葉ですね。だから、南無阿弥陀仏は、「光といのち極みなき阿弥陀仏のお救いに遇ってよかった。有難うございます」という喜びのこぼれだと言ったことが出来ます。一緒に拝読下さった「正信偈」冒頭の「帰命無



☆行事ご案内☆

7月の門信徒会例会

7月19日(日)夜7時半

- ご法要に向けて音楽法要、仏教讃歌4曲「しんらんさま」「旅ゆくしんらん」「娘たちよ」「いのち毎日新しい」練習
- 各地の寺々の活性化事例紹介

◇絵手紙教室 7月14日(火)午前10時 庫裏食堂で

講師：川崎光子先生。お誘い合わせてお気軽にご参加下さい！

◇キッズサンガ 7/4(土)午後4時よりお経ゲーム。

鐘つきは毎夕5時、年中無休、お友達を誘って来てね

◇三重組コーラス 7/7(火)名古屋別院音楽祭、

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報が閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。寺の日常を公開、開設6年11か月で17万8千訪問、一日平均100程、コメント、悩み相談、大歓迎！即返信します。

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話

※親鸞聖人750回大遠忌法要平成28年5月15日(日)午後ご法要までいよいよ10か月に迫り、ご協力よろしく！

※お稚児さん大募集！参加費5千円、詳細お申込みは寺まで生涯のよき思い出、仏縁です。お誘い合わせてご参加下さい！

◇三重組十三日講 7月3日 川北光了寺様(野村康治師)

◇新納骨堂：後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい



山門前の駒札

量寿如来」も「南無不可思議光」も「南無阿弥陀仏」の意味を表現する言葉ですよ、と申したら、傍らの若いお孫さんたち(大学生と高校生)が改めて聖典のページを開いて食い入るように見つめました。求道の入り口に立ったのです。

亡き人の後ろ姿に学ぶ法座となり、これぞ仏法相続の仏縁だと喜びを感じさせて頂くことができました。

今月の写真アラカルト



27年度門信徒会総会・公開法座風景



遠近各地から集う子供たち、にぎやかに！

坊守スケッチ

認知症対策



現在65歳以上の高齢者のうち、認知症は約500万人。予備軍400万人も含めると、4人に1人が認知症の可能性がある。早急に対策が必要だ。私自身も他人事ではない。最近老眼が進んで読書が億劫になった。無駄な抵抗で老眼鏡を使用しない。また人の名前が浮かんでこない。単なる物忘れと自分をなだめるが、内心は認知症の始まりではないかと不安でいっぱい。

先日テレビで認知症の名医を紹介していた。診察予約が2か月先まで満杯。過去に3万5千人の認知症を診察。北海道から沖縄まで患者が押し寄せ。もしや以前に亡き母がお世話になった先生ではないか？やはりそうだった。名古屋市郊外で開業されたK医師。昔は愛知県の病院勤務医だった。介護保険が始まった当初、介護現場に働く人たちの指導も熱心にされた。

認知症の症状は大きく二つに分かれる。記憶力や判断力の低下という中核症状と、暴力・幻覚・徘徊という周辺症状。中核症状の治りは難しいが、周辺症状は改善できる。Kメソッドという手法は、患者が穏やかな生活に戻り、介護者の負担を軽減できる。

毎月一回、母を車に乗せて愛知県の病院に3年間程通った。待合で順番を待つ時間、先生は手作りの新聞を毎月配られた。私も寺報を毎月発行してい

るので、忙しい先生のご苦勞に頭が下がった。そして読むうちに妙に親近感を覚えた。それは先生から介護者への思いやりだと気付かされた。先生のおかげで私の精神的負担も軽減した。「あなたもよく頑張ったね。もう来なくていいよ」とお墨付きをもらった。その一年後に母は四日市の病院で亡くなった。あの時先生に出会ってなかったら、私はパニックに陥っていただろう。もし現在認知症に悩む家族がいたら、専門の名医の診察を受けることをお勧めする。今はいい薬が開発されて周辺症状が和らぎ、介護する家族にも笑顔が戻るそう。どうか一人で悩まずに勇気をもって相談しよう。

☆来年5月15日のご法要で、稚児行列が本堂に入ってくるまでの時間、皆様と共に仏教讃歌を歌います。一緒に歌って下さる方を募集します。曲目は「しんらんさま」「旅ゆくしんらん」「娘たちよ」「いのち毎日新しい」の4曲。所属寺は問いません。奮ってご参加下さい。

☆各ご門徒様宅の扉に、稚児募集のポスター掲示をお願いしました。

お稚児さん大募集!
平成28年5月15日親鸞聖人750回忌法要(10か月後)の御稚児さん大募集!参加費5千円。まだ先のことか、出足がイマイチ。ご協力下さい。

☆若院夫婦の『育自な毎日』その9

長女紗恵は満七カ月を過ぎ、心身ともに大きく成長しました。今月号はようやく彼女が主役です!四月中頃、寝返りに成功しました。寝返りのまま、ハイハイの特訓を開始し、ずりずりと後退して移動しています。本人は景色が変わるので楽しそうです。色々な物に興味を持ち、調べようと使命感を持って何でも舐めたり噛んだりしています。小さな前歯が顔を出したので痒いのかも知れませんが、最近、気になるのはリモコンのようです。

そして何やらお喋りもしてくれそうです。時には金切り声、長男がはしゃぐ様子に声を上げて笑うこともあります。

人見知りもします。先日、久しぶりに会った実家の両親にもべそをかいていました。常に「母ちゃんどこかな」という顔でキョロキョロ探して、しばらく放っておかれたら泣いて怒っています。そのうちに後追いを始めるでしょうから目が離せません。

短期間に目覚ましい成長をするわが子。誰しもこうやって親に見守られて成長したのだと実感します。

生まれたときから兄がいる環境は彼女を逞しくするでしょう。そのうち二人で喧嘩でもしたとき、どちらに軍配が上がるのか今から想像して楽しみにしています。(潤爾・由佳)



ホットニュース

☆『絵手紙教室』が6月9日午前10時より庫裏の食堂でスタートしました。門徒さん以外にネットでも知って参加された方もいます。絵手紙の後はお茶会。指導は日本絵手紙協会公認講師川崎光子先生(門徒様)。市内9か所で指導されています。今までお世話になった方に絵手紙でお礼の気持ちを届けませんか?次回は7月14日(火)10時。認知症予防にもなります。楽しい集いには是非ご参加下さい。



カンパありがとう

木田みき様、小西あき枝様、匿名様よりお志、切手等を頂戴しました。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第259号をお届けします。◇本願寺では第二五代専如門主の伝灯奉告法要が二八年十月から二九年五月迄、八十日間お勤めされる。少子高齢化、地方の過疎化が進む時代、仏教徒の生き方が問われている。◇社会の問題に仏教徒が無関心ではいけないが評論では空しい。◇寺は地域社会の中で公益的な意味ある存在でありたいと思う。共に精進したい。

6月から絵手紙教室が始まりました。場所は善正寺庫裏の食堂。大きなテーブルを並べて10人程が集まりました。講師は日本絵手紙協会公認講師の川崎光子先生(前巻)市内9か所の老人施設や市民センター、小学校等で教えるベテラン指導者。5月末の総会でご案内しましたら、いち早く賛同頂き感謝しています。第一回目は6月9日(火)10時に開催。絵手紙の心得、線の描き方、対象物のスケッチ等の講義を受け、早速本番。久しく筆を持ったことのない方や、絵は苦手という人ばかり。しかし先生から「下手でいい、下手がいい」とおたてられ、自分流の味が出たらよいと思ひ直して幾分気が楽になりました。皆小学生に戻った気分でハガキいっぱいにもヒーマンを描きました。色の塗り方も光の当たり加減で微妙に変化をつけます。次に心に響く一言を添えます。最後に消しゴムで作った落款を押して完成。作品は一人一人に講評を頂いて終了。片付けの後はお茶とお菓子を楽しいおしゃりタイム。あっと言う間の二時間でした。絵手紙でお世話話になった方に感謝の気持ちをお届けしようしを合言葉に、毎月第2火曜日の午前10時に集まることになりました。次は7月14日(火)。絵手紙は全国的に大ブームです。誰でもいつからでも始められます。特に高齢者には認知症予防にもなります。入門は易く、奥が深いのが魅力的。興味のある方は是非一度ご参加下さい。絵手紙でつながる喜びを共有しよう。合掌

平成二十七年七月

善正寺坊守様